

DI NEWS PAPER

瓦版

UNBEATABLE
PROFESSIONALS
AND
COMPANY
他をもって替えがたい
人と企業を目ざす

現場秘話 酷暑 蝉の鳴き声でも暑さが増す(汗) 屈強な協力会社



9月に入りましたが、真夏の猛暑がまだまだ厳しい日々が続いております。お盆には豪雨災害も発生しましたが、お天気まで一極集中の世の中になっているのかと思えてきます。6月の瓦版で「最新の冷却ツール！」と題して暑さ対策の情報をお届けしましたが、今月は現場からの情報をお届けします。



真夏日や猛暑じゃない 酷暑 暑さも次の段階か？

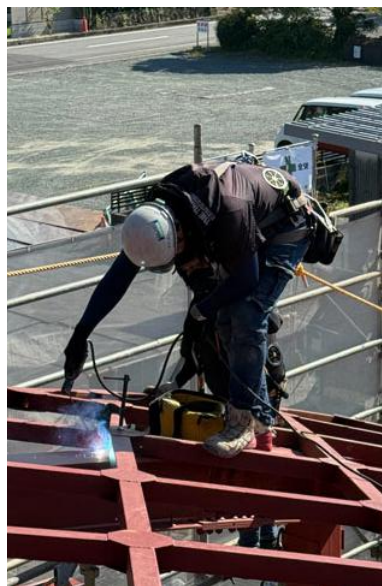
この酷暑という言葉は気象用語では無いようです。気象庁では35度を超えた日を「猛暑日」と名づけて伝えるようになり、「酷暑」に定義はないようですが「身を焼くような激しい暑さの事が「酷暑」と呼ばれているようです。

熱いのは甲子園 だけじゃない(汗) 熱闘!鉄骨現場! 戦え! アイアンマン!

多くの建設工事で、新年度竣工を目指す工事で、鉄骨の立て方工事が、この8月、9月、10月に集中するため「涼しくなってから・・・」などとは言ってもらえません。その為、この酷暑の中、太陽に熱せられた鉄骨の上で、協力会社の方々は日々汗をながしておられます。最近、建設会社の現場担当者で若い女性を見受ける事が「屈強な漢達の舞台」から変わりつつあるようですが、それでも本当に頭が下がります。8月は夏の高校野球など炎天下のドラマとして報道されますが、日陰の少ない工事現場で、灼熱の太陽に晒され、熱せられた剥き出しの鉄骨の上で、作業服に身を包み溶接作業を行い、工期を遅らせない為に作業効率を工夫し、一つの現場が終われば次の現場に走る。そんな、協力会社の皆様にフォーカスし、今月は特集号としてご紹介させていただきます。



日陰がない! 高所作業! 暑さ!危険!と日々戦う皆様



斜め格子母屋のユニットが現場に搬入され、地組が終わリクレーンで上貨されれば、高所作業が続きます。屋根の上での作業になるので、もちろん日陰はゼロ!足を滑らせれば大きな事故になる危険な場所です、溶接作業となります。『暑さでひらつきそうになることもあります、現場に立つ人間として「安全第一」という言葉は常に最優先に心がけ、作業を行っています。』やはり、一つの事故がその現場に迷惑をかけることになる、高い意識を持って現場に立って頂いていました。



また、違う話では『最近では、休憩時間や水分補給などの決まりを守るように、どの現場でも徹底されています。現場によっては、飲料水用の倉庫が設置されていたり、休憩時間が厳しく管理されていたりしているので、体の負担にはお気遣いを頂いています。その分作業効率を上げて、仕上げや工期などの要望に答えられるように頭はフル回転させてます。暑くても気のゆるみは事故に繋がりますので、ONとOFFの切り替えを確りして、頑張ってます!』とのお話も聞きました。この様な過酷な現場に、最近は作業服に身を包んだ若い女性の姿も見えるようになり、物づくりの現場も新しく生まれ変わってきているように感じます。DI News PAPER 瓦版では今後も、現場の協力会社の皆様のご苦労もお届けしてまいります。



講演会 田中取締役 単独ライブ?! 講演? NISCAにて技術講演

建築業界に浸透していない新技術を普及し災害で悲しむ人を減らしたいと立ち上げられたNISCAの勉強会にて、技術発表の機会を頂きました。



参加者は、メーカーや構造設計者の他、学生さんも参加され、講演に耳を傾けて頂きました。今回の講演は、営業の田中取締役が担当させて頂き、参加者の皆様からも好評頂きました。



九州第一工業 小話

★田中くん：お盆休みはしっかりリフレッシュした田中くん。家族で地元へ帰省した様ですが、地元では母校の東洋大姫路高校が甲子園で大躍進! 休み明け『あれ?西短は?...うちベスト8(笑)』...なんか悔しい...

★河野さん：夏!河野農園(自宅)の夏野菜が全盛期!たくさんのキュウリやゴーヤが、事務所に搬入されますが、どれも良いサイズ!河野さんの野菜は社内でも大人気!!...道の駅に持って行かないで下さいね。

★池田くん：この時期、毎年現場が大忙しの工務!真夏の高校野球のごとく、九州の現場を走り回ってくれる池田くん。午前熊本、午後長崎、翌日長崎から熊本、翌日福岡...。10月頃まで『熱闘!池田君!』

皆様、お盆休みはゆっくりできましたか？

今年のお盆休みは、長い方で9連休となった方も多いのではないのでしょうか?旅行や帰省で、遠隔地に出かけられる計画をたてられていた方も多いと思いますが、九州では連休初日から豪雨に見舞われ、今年も豪雨災害の時期になったと、自然の脅威に落胆してしまいました。猛暑が続きますが、今からは台風が発生や、線状降水帯の発生など、豪雨災害も非常に気になりになる時期となります。気を付けていても大自然の驚異の前に人は無力かもしれませんが、命を守る行動を忘れず、次は我が身と思って準備はしておかないといけませんね。毎年、日本のどこかで発生しているのが「自然災害」です。お気をつけ下さい。

発行所:



空間構造メーカー

九州第一工業 株式会社

本 社

〒819-0001 福岡県福岡市西区小戸4-29-50
TEL: 092-894-6800 FAX: 092-891-3147

工 場

〒869-4213 熊本県八代市鏡町有佐672
TEL: 0965-52-1910 FAX: 0965-52-1764会社代表E-mail: di-info@ksdi.jp
営業専用E-mail: di-ssm@ksdi.jpURL: <https://www.ksdi.jp>

購読料: 永年無料

顔で聞ければ幸いですm(_ _)m

発行: 1ヶ月 1回 がんばります!(汗)